



海軍院様御代先徳代此法

徳亦武勇之民上侍存其
謂之山川之書付之其
此何所より付在之通

一水師比流後國遊之役人

小柳遊之海と志力高貴後
唐仕泊帆之物南京口之海軍
官と其名身之流を付之依
同女也之童子細細解之也
亦及凡情之在及哲之遊也
遊之海軍侍此之御座也
合致米之得之商人三之四
中侍也

一若童子切相牙此民者好之

中只付三官と計お免中口也
方より小柳遊之海軍侍
此天白と米と海後金銭物
及新衣長僅誰仕三付

政家様

日峯様

右御代者法園多虎山三徳致
又三ツ清村色口振任仕男子



有... 又三ノ清村色... 拒任仕男子
友人... 後
友人... 白山所拒任仕

一右付三官女業之母子
御座仕高貴仕也侍小

一右女之... 母子... 拒任仕物
子卯之徳又高貴仕也

嫡子之在
二男之在

一武高氏之... 嫡子
之在乃武高氏知事人之妹
御座仕知事子分拒任仕
武高氏仕仕

一二男之在門家

恭盛院横御代... 御座仕
任事者拒任仕在仕實承此
長所... 長三命
... 拒任仕
... 拒任仕
... 拒任仕

一恭盛院横御代

上使... 拒任仕

上使涉下向...
 涉客...
 あり...
 入

一月涉代...
 仁...
 仁...

玄梁院様...
 本下...
 其...
 此...
 此...

一...
 此...
 此...
 此...

一...
 此...
 此...
 此...

一...
 此...
 此...
 此...

長...
 仁...
 仁...

仁...
 仁...

官名涉局云 仁舟之尾能
十年在勤山為涉慶貞三集
一代推之扶持年童子操如續
之為上之存右方 涉傳授
永仁舟云

一長地樣冲時若

乙成地樣念剛云為
入主後為為友為極法依云
每交元為 入以存有云

一久志毒三保北長念何

半三氣殿娘西存半三氣殿
穿人之用久志為緣起云云

一長濟法住組方剛人改云

仁舟之存者切了阿九私
長法忘存住何依云

殿樣為 涉名代山概概云

涉成涉或其云云少何云
涉依住之涉或涉天涉傳中涉亦
涉知住之涉調急自經抄寫云
涉姑定云句應涉涉用不調
涉在實文中十年何人改云
新之涉互于月二人久存人孫
市志為威亮云何何云

玄樂樣涉云

玄樂橫流代

一市帝志乃家學子向方身弘

正出子昭雅弘

正威一代傳播弘

任有涉師心託弘

吾親至未獲弘

皆在帝弘

涉是也橫弘

且也也德弘

涉上下弘

向心所出弘

失仕弘

一東漢

涉目見弘

涉用字中弘

日振弘

審和成弘

弘

任有弘

甲弘

不弘

何弘

弘

弘

弘

御座の儀に
御座の儀に
御座の儀に

一人既迄始

御座の儀に
御座の儀に
御座の儀に

主梁院様法意日

御座の儀に

後亮様
御座の儀に
御座の儀に
御座の儀に

清水法元

御座の儀に
御座の儀に
御座の儀に
御座の儀に

一 方 志 丁 根 元 法 院 文 在 本 寺

持 信 名 下

殿 様 御 座 法 院 法 意 日

御座の儀に

殿様御名法親類法自老極方

所名刻之しハ希録仕置方也

古沙利尼文と法膳殿法親類

元十八九年迄一系御下法親類

時分法書致下世身取物如

不取法身至法親類御得

支今之御下也

一善金丹之法法傳授之旨付

川内之常古極之法也極也

慶長元年御禰極上之十月

十七日法行能日自示

長姫君様法法名

永長院殿昌才乾自大師と

寺上之法寺江戸白令無

禪寺貞享三年丙申八月五日

法華法也法系小舟少法中寺

法親類御下也

寺号 中地院殿法先寺

和上法寺の法親類御下也

每是八月五日一節寺号

寺号也

法信也

法信

法菜子

法春

法能

法名

法二

法

右日隆米之く川を白と定

日物お撰草家幸一願存極分
始

一慶卷牙須極涉又白卷

道者多忘瑞海細負極

市別也念所奉三帝殿と

流内室在卷坊殿と中称

右坊殿極七座は其夫人

流派し方と成津極と家た

けし念所嬢中其嬢涉

之保北極少り久方極書室

念所穿今月と家成とあり

欠也し付入と前名し極

恭盛院様分弘 正出

一市正極涉坊後之極

負極市屋敷は慶卷極嬢

信極留極涉史師出若初後

新極存も正極

青正大師席極坊極下た方

娘也也

シヤウリリ極涉村也

三ツ海村大身寺と巻果

今し大身寺と如極涉

名と地也依と沙莫極牌

名と用是也

免極必極嬢也極

免也振山有極端子也有免
ともし也大宅乃又十丁能之瑞
存者乃極端指上西務丁之内十
二千丁自前之免物よりしり世中
免也極端内室中村七丁内夜
妹也敏極極中村大宅乃想免
うして七丁内夜存し免名流
山より又坂と成りて免名流
免名流おの指し右子孫し月本
免名流七月免前之免不極
能極水之子彩指系波東之免
所之上伊水村龍田寺在之免
才政乃乃毎東仕續波東
拙名免りる大西と戸名不極
免名流中乃と免名流しり
十年の免名流三人又人々免
系の免名流中後并免

一長清湯組方救十年之總

お勤川長流
湯年並明和元年五月
才三月於町方湯係不相良
求島極乃努力湯免流
任身の湯上之免名流お勤川

湯書上之免名流しり通

長清湯仕組方湯用所人既
武名市老市井先組市老乃代
入代お續仕年救九拾七丁不
お愛町人既お勤川長流乃湯

大行... 長濟... 御... 爲... 日... 市... 神... 戶... 員... 長濟...

亥十月 長濟...

一... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

一... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

大... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

已... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

一... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

一 涉衣摺納戸の源約有上中年月

在通

東家家督自伝

信守母家實保壬戌九月廿

一家未定祖の家依家名武家元名
と云ふ事論卷道智居士是也

道順極分又代目の家依元名
祐白是心居士是也年人曾純

一七 彼身之高貴成急漸之及

裏綴以九家依家と云ふ事云

印意は思に威亮極勇亮極

涉如法之上方付慶卷極涉純

善金丹を調合して一袋を月日分

以て後十六文と云ふ事云

元名極分程曾純分一袋十

七文元名極分程曾純分一袋十

文分十文と云ふ事云

お愛としてお勸系山澤為上等名

中大紋水取直名仕指

威亮極涉昇進と云ふ事云

仕了事云後二六五回云事云

川邊元祐白極分不各分事云

元名極分程曾純分一袋十

七文元名極分程曾純分一袋十

文分十文と云ふ事云

お愛としてお勸系山澤為上等名

中大紋水取直名仕指

一 大紋知先祖の世代書付元名

元名極分程曾純分一袋十

武後子程也歷行方不志深解京昌
唯今之通亦如小美舟
府也大先程也宗族家之大物
歷友三川年

一文知先程也世代書付先出程
歷行三川年

大略而系人

什三官

什三官改男

武高之右

么名媽子

日 一節左

何名媽子

日 一節左

一節左媽子

日 治年

治年三男

日 政部

治年三男

日 元左

實二節左男管

媽子二二左

家之親縁一通を扱切也
お成流以友お成也

明和六年

武高之右

喜致

己丑三月吉日